

採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	北陸先端科学技術大学院大学
拠点のプログラム名称	検証進化可能電子社会
中核となる専攻等名	情報科学研究科情報システム学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 片山卓也 教授 外19名
(拠点形成概要) 安心して生活できる電子社会を情報科学によって実現するための新しい学術分野を開拓する。電子社会では、政治、経済、司法、行政、医療、教育など社会生活の基幹部分が電子化される。我々はそれにより利便性を享受する一方、電子社会システムのもつ欠陥、不完全さなどから、生命や財産の危機に直面する可能性もある。また、システム変更の困難さから、社会が硬直化し、新しい環境への適応・進化が出来ない可能性もある。この問題を解決するために、情報科学における形式的手法を適用することが本研究教育拠点の革新的な理由である。すなわち、電子社会システムの構造や機能の形式的表現方法論、それが望ましい安心性要件(正当性、公平性、セキュリティ、進化性、耐事故・故障性、アカウントビリティなど)の性質を満たすことの論理検証方法論、社会の変化に応じて電子社会システムを進化発展させるための進化方法論などに関する学術分野を開拓する。	
(採択理由) <コメント> 電子社会システムの機能や構造を、オブジェクト指向などのソフトウェア技術の中核として、安全性の検証や機能の追加が可能な形で構築する事を可能にする技術を確立することを目指す研究教育拠点である。社会的要請の強い、しかも情報科学だけでなく行政システムなどの社会科学の領域にも関わる学際的分野を取り扱っており、革新的分野の拠点創生が期待できる計画である。	
<革新的な学術分野であるポイント> 電子社会システムの安心性の確保について、最新の情報科学に基づき全体的にモデル化・仕様化して論理検証を行うとともに、行政システムなどの社会科学にも関わる分野を取り扱う点で、革新的な学術分野の開拓を目指す拠点形成計画である。	